

民主島根

2019年
12.8
第1349号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

「沖縄と連帯する島根の会」が講演と総会 ボロボロの主権・・・日米地位協定

—高野孝治 代表世話人 世話人 弁護士 が記念講演—



高野代表世話人(弁護士)の講演を熱心に聞く参加者(松江市)

「沖縄と連帯する島根の会」(高野孝治代表世話人)の講演と総会が11月30日、松江市内で開かれ、会員ら90人が参加しました。高野代表世話人(弁護士)が「ボロボロの主権：日米地位協定」と題して記念講演し、日本の主権が踏みこまれてきている日米地位協定の実態を説明しました。



この中で、高野氏は、米軍横田基地の航空管制権について、軍用機優先で民間機が制限されている現状をリアルに解説するとともに、県西部の米軍機による低空飛行訓練にふれて「浜田市の調査でも多くの住民被害や苦情が相次いでいる」と報告しました。さらに、ドイツやイタリアの米軍との地位協定では、協定改定

の努力が重ねられ、米軍への規制強化や立ち入り調査が認められていることを指摘し、米軍いらないの日本との違いを強調しました。

講演の後、総会が開かれ、地位協定改定を盛り込んだ規約改定や新しい世話人を選出しました。

11月県議会の論戦から

日本共産党の尾村利成県議は11月29日、一般質問に立ちました。(2面に続く)大國陽介県議は5日、一般質問で県執行部をたどりました。(次号掲載)

尾村県議の一般質問

■少人数学級縮小の中止を

県が子育て支援拡充の財源確保のため、公立小中学校の少人数学級編制の縮小を検討している問題で、尾村県議は「福祉を充実させるから教育の削減を認めよ」という「二者択一論」は県民の要求に对立と分断を持ち込

島根原発の稼働断念を

新潟県は、①福島第一原発の事故原因、②原発事故が健康と生活に及ぼす影響、③万一原発事故が起こった場合の安全な避難方法―を検証する「検証委員会」を独自に設置しています。

米軍低空飛行訓練即時中止を

昨年12月、高知県沖で岩国基地所属の空中給油機と戦闘機が空中給油訓練中に接触し墜落する事故が発生し、報告書では手放し操縦や薬物乱用、アルコール過剰摂取などの常軌を逸した規律違反が判明しました。

尾村県議は「2020年度以降、美保基地に配備予定の空中給油機は米軍への給油も否定されていらない」と指摘し、国に對し、空中給油機の配備と教育をパッケージとするのは余りにも乱暴だと厳しく批判しました。

鼓動

寒さが身にしみる季節。この時期は、体が温まる温泉施設に行くのが何より楽しみだ。温泉施設内に設置されていることも多い「サウナ」…。「暑苦しい」「おじさんが入るもの」「ネガティブなイメージが付きまといがち」「サウナ」が空前のブームになっている▼背景には、サウナの爽快感やリラクゼーション効果に親しむ「サウナー」の増加と、サウナに入る楽しさを綴った「サ道」という漫画が出版され、TVDラマ化もされるなど、サウナ文化の広がりと推奨されている▼「サ道」で推奨しているサウナの入り方は「サウナ室に入る↓水風呂に入る↓外気浴」を1セットとして何セットか繰り返すというもの。水風呂を出た後、外気浴をしているとリラックス状態が極限を迎え、落ち着いた気分、「瞑想」に近い状態になり、サウナーの間では、この状態を「ととのう(整う、調う)」と呼んでいる▼サウナは、高血圧や心臓、精神疾患のリスクを軽減するといわれ、美肌効果や仕事モードの切り替えにも効果があるそう。ただ高血圧や心臓疾患のある人は、サウナと水風呂に交互に入ることによって血圧が上昇、降下を繰り返すため注意が必要。また、お酒を飲んで入ったり、二日酔いの状態だと心臓に負担がかり、ご法度とのこと▼現代のストレス社会で手軽に楽しめる癒しの場サウナ。心地よい汗を流しながらリラックスして気持ちもリフレッシュした後に冷たいビールをゴクゴク。これ以上の贅沢はない。心と体の調和をしっかりととる。冬、冬の寒さ、師走の忙しさを乗り切ろうと思う。(遠)